

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	－	－
(四国)	○	コンビニ（店長）	・自粛にも限界があり、また、新しい生活様式への慣れもあって来客数が微増している。結果的に来客数増、単価増の状況が続くのではないかと。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあり来客数は少ないが、意外と客の購買意欲は高い。このままロックダウン等がなければ、景気は徐々に良くなり、年末から年明けに掛けて、ある程度回復するのではないかと。
	○	乗用車販売店（従業員）	・自粛のせいで買い控えていた客が動いている感じがある。
	○	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスも徐々に沈静化していくという予測と、ワクチン開発に関する明るいニュースにより、景気は少しずつ回復していく。
	○	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数はかなり減っているが、そろそろ収束するのではないかとと思われるので、客が増えると期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先は少し涼しくなるので、来客も少し増加する。
	○	一般レストラン（経営者）	・今後も様々な施策による後押しで、少しずつは回復すると思われるが、以前の日常にはなかなか戻らない。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスと共存する社会がスタンダードとなる。
	○	通信会社（営業部長）	・客もウィズコロナに傾斜しており、マスクやアクリル板等の感染対策は必要ではあるが、来店を控えようという人は少なくなっている。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響も少しずつ収束し、新しい生活様式に合わせた来客数増を期待している。
	□	商店街（代表者）	・4～5月の業績不振の影響により、電機店を中心に、各店舗の撤退等がみられている。飲食業もなかなか戻らない状況が続いているので、第2波が長引けば、今後も厳しい状況が続く。
	□	商店街（事務局長）	・このまま新型コロナウイルスの感染が縮小傾向から収束へと向かえばうれしいが、季節型インフルエンザが流行する時期に新型コロナウイルスの感染が再拡大するのではないかと多くの人が抱いている。少なくとも年内一杯は生活や消費が以前のように戻るとは誰も期待していない。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、引き続き厳しい状況が続いている。先のことは読めないが、好転の兆しは今のところ想定できない。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだ続くだろうし、今の状況では先行き不安である。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスに対する不安感が払拭されるまで、来客数が戻ることは余りない。
	□	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスの完全な終息には時間が掛かるため、しばらくはこのままの状態が続く。
	□	スーパー（店長）	・抜本的な新型コロナウイルスの感染防止対策が確立されるまで、現状が続く。
	□	スーパー（企画担当）	・外出や人混みが安全である確証がないと家庭外での消費が戻ることは想定できず、来客数の割に買上点数が多い状況は続くかと推定できる。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスによる経済へのダメージは、収束が見通せない状況では先が読めない。
	□	コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスの第2波や第3波がきて、消費者の財布のひもは固くなる。
	□	家電量販店（副店長）	・目的がある客は来店されているが、今後大きく景気が戻るのには期待できない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない状況が続く限り、良くはならない。
	□	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で消費者の旅行の意欲は非常に低く、観光関連業界の景気は低位で推移する。

□	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先は全く読めないが、現在の予約状況から推測すると先行きは余り変わらない。まだ感染拡大が続いているので、ブライダルの中止や延期が出てきている。Go To Travelキャンペーンは課題の多い施策であるが、これも余り伸びないのであれば、若干、弱含みかなという気がする。
□	旅行代理店（営業担当）	・これから紅葉シーズンが到来するが、各地域における感染拡大が収まらない限り、大きな景気回復は見込めない。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの収束がまだ見通せず、8～9月のイベントやコンサート等の予定も全部キャンセルになっている。飲食の人出も3密を意識して減少している。
□	タクシー運転手	・例年なら秋は四国遍路の仕事がどんどん入ってくるはずだが、それもキャンセルが出ている。新型コロナウイルスがどうなるかによって大分変わってくるが、街も良くはないので、今後も売上は良くならない。
□	通信会社社員	・しばらくは新型コロナウイルスの影響が継続する。
□	通信会社（支店長）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が継続する。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染防止対策やワクチン開発等により、客が安心して余暇を楽しめる状況はまだきそうにないため、もう少し悪化する。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・毎年秋は商品が余り売れない時期ではあるが、イベントのキャンセルがまだ続いていて、秋の予約が入らない。
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスで外食からの需要を取り込んできたが、落ち着いてきたら再び客が外食に回帰する。
▲	衣料品専門店（経営者）	・人の往来が規制されているため来客数が少ない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・9月は秋物の最初の月ということで、例年であれば気温さえ低かったらある程度売れるが、今年は10月くらいまで残暑が続くと長期予報が出ているので、非常に厳しくなるのではないかと心配している。
▲	家電量販店（店員）	・冬のボーナスも期待できない状況で、販売数、単価共に厳しくなる。
▲	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなら、メーカーキャンペーンが9月末までなので、それ以降、悪くなる可能性が高い。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者が増加傾向になっていることもあり、高額商品の購入に慎重になっている方も多い。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・今年の秋冬は、季節型インフルエンザと新型コロナウイルスで来客数が更に減っていくのではないかと危惧している。
▲	競輪競馬（マネージャー）	・秋から冬に掛けて新型コロナウイルスが再び拡大すると予想されており、有効なワクチン開発や対策もすぐには実現は見込めない。現状は回復しつつあるものの、2～3か月先には景気は悪くなると予想する。
▲	美容室（経営者）	・今は特に暑くて髪を切る人が多いが、秋から冬になると髪を切らない人が増える。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスや大規模自然災害が続くなか、東京一極集中型社会は長期計画の下に地方分散型社会への転換が求められる。また、ますます進展するIT社会に対応するため、無条件に過剰化する県外大型店中心の街づくりから新たな情報化に対応できる街づくりに転換する必要がある。こうしたことに官民挙げて取り組まなければ地方都市はほとんど崩壊する。
×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、所得が少なくなっている方が段々と増えており、全体の景気は上昇してこない。
×	コンビニ（店長）	・お盆以降の状況から勘案して、しばらく減少傾向となる見込みである。
×	衣料品専門店（営業責任者）	・緊急事態宣言が解除されて6月は客足がやや戻っていたが、その後は下降線をたどっている。かつてない売上の減少に直面しており、アパレルの流通の川上から川下まで全てで影響を受けていることもあって、来年の春頃までは厳しい状況が続くと考えている。
×	設計事務所（所長）	・民間の設備投資に非常に遅れが出てきており、新規事業等が始まるのが遅くなっている。
◎	—	—
○	化学工業（所長）	・底は脱したように感じるが、回復のテンポとしては悪い。

関連 (四国)	○	電気機械器具製造業（経営者）	・地方は仕事をするのを望んでいることを考えると、必ず仕事は増えていく。
	○	通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの影響があるなかでも、できる限りの経済活動をしなければならぬ風潮が各社に広がっている。
	○	税理士事務所	・まだ完全に新型コロナウイルスの影響がなくなったとはいえ、業種によって影響度が違う。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌用ウェットクリーナーの需要は拡大しているが、アルコールの仕入制限があるので受注を制限している。制限が解除されて工場に交替勤務を取り入れると、売上は更に上がると考えられる。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、当面は現状が続くと予想する。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの第2波のピークが過ぎ、新業態化へと社会環境が変わろうとしているものの、まだ大都市圏を含めた日本全体の感染状況が落ち着かないため、数か月先もここ2か月前と同様な景気動向と推察している。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、数か月先でも収束には至らないと思われることや冬には感染の再拡大の懸念も大きいことから、良くなるとは見通せない。しかし、相応の感染防止対応を国民が行うことにより、悪くなると思えない。
	□	建設業（経営者）	・やはり公共事業の発注次第である。
	□	輸送業（営業）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないため、感染拡大防止と社会経済活動の復調の両立は難しいとの見方が強く、消費低迷による取扱物量の落ち込みは当面続くと推察される。長引く収益低下により経営状態が悪化するなか、体力勝負の様相を呈している。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない。また、収束に向けた対策がどのくらい経済に好影響をもたらすかが見通せない。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で年内のイベント等はおおむね中止が決定し、客の販促広告の削減も継続が予想されており、依然として厳しい状況が続く。
	▲	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルス感染症の長期化の影響は大きく、飲食店や旅行関連の業種を中心に経営に厳しさが増している。既に閉店や人員削減、予約がない日の休業等がみられており、新型コロナウイルスの第2波が収束し、ワクチンと治療薬が出回らない限り厳しさが増すばかりである。所属する農協でも10月と来年2月の大型イベントを中止することが決定しており、新型コロナウイルス発生以前の経済活動に戻る気配は見当たらない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりの状況で、外食産業の景気が上向いてこないと推測される。
	▲	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がしばらく収まりそうになく、全体的に厳しい。当社タオル商品は観光地でも売上が大きかったが、当県の本州四国連絡橋の道の駅では前年8月には300万円以上の仕入れがあったが、今年は100万円以下である。他の観光地も同様の傾向で、それらの実績を全て他の営業活動で穴埋めすることは難しい。当社の取引先は地方の小規模小売店が多いが、それら小売店は今後、資金手当ての面で金融機関の一層の支援が必要になってくる。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注は若干回復しているが、新型コロナウイルスの影響で先行き不透明な状態で、受注回復も期待できない状態である。
	▲	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスは底を打った感があり、世間の慣れもあって、改善に向かう側面もあるだろうが、一方で企業体力も限界にきており、倒産の増加が予想される。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大、原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	輸送業（経営者）	・先が見通せない。役人は責任論ばかりで、結局ワクチンができるまで何も進まないと思う。
	×	輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの影響は世界レベルとなっており、製造業等の客の輸出入の数量は、国内外の需要の落ち込みにより、前年同月比では更に下降線をたどると見込まれる。一方、生活必需品や飲料に関しては、猛暑の影響で夏場の需要が秋口まで続くと思われる。

雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（営業）	・今年中は前年同様の景気までは戻らないと覚悟を決めて、新たな事業を展開していく企業が増えてくる。内定者の削減や来年度の求人活動自粛の声も聞くが、オンラインでの面接、研修、営業など新しいサービス様式が日常化していくと考える。
	□	求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で業績が回復している企業が少なく、人員を増やそうという企業は少ない。
	□	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の延長が決まり、大量の失業者が生まれる可能性は低い。
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響により、休業している事業所から雇用調整助成金の相談が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。緊急事態宣言が解除され、県外への移動等も可能となり、今後の状況は緩やかに改善していくと思われるが、急激な変化はしばらくないと推察する。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの収束がみえないため、現状の景気に大きな変動はない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・新規採用を控える企業が増えている。
	▲	求人情報誌（営業）	・求人数が減り、失業者が増加している。景気回復のめどが立っていないため、この状況は続くと予想される。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第2波の影響で、景気はやや悪化すると推察する。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せず、求人がなくなっており景気の回復がみえない。